

## (2) 特別会計などの支出の見直しの継続

特別会計には2007年度末で204.9兆円の積立金がある(図2-3-5)。このうち年金積立金136.1兆円(厚生年金127.1兆円、国民年金9.0兆円)は、将来の国民に対する債務であるが、年金積立金以外にも68.9兆円の積立金がある。

一方で、負債をかかえる特別会計もあるため、貸借対照表の資産から負債を除いた正味財産にも着目した。貸借対照表では、年金積立金は「公的年金預り金」として負債に計上されている。2007年度末には、特別会計全体で資産635.0兆円、負債534.3兆円、正味財産(資産-負債)は100.8兆円であった(図2-3-6)。積立金(年金を除く68.9兆円)以外の正味財産も少なくないことを示している。

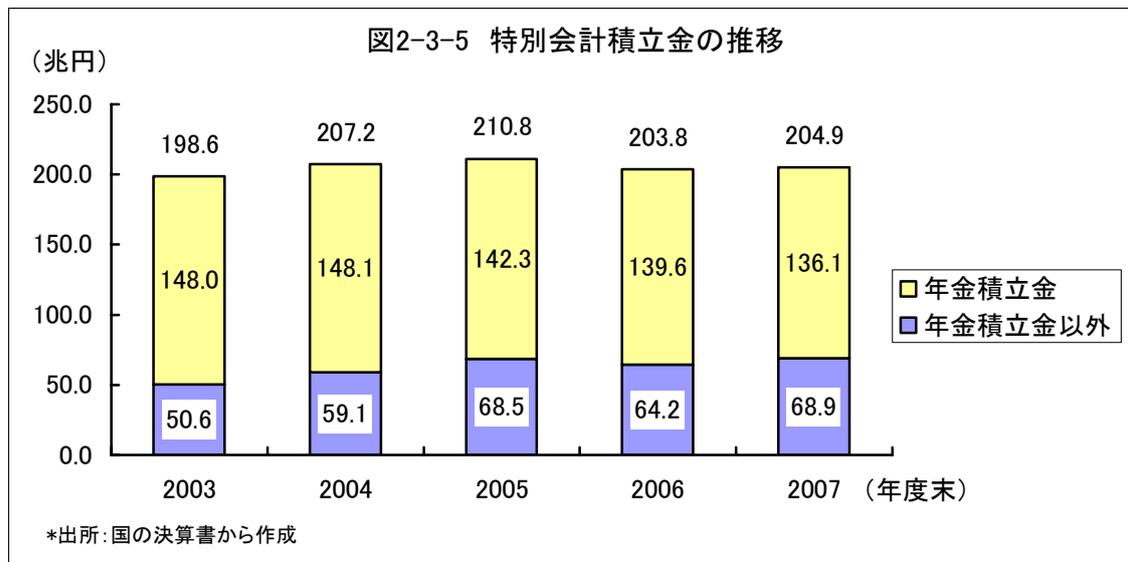


図2-3-6 特別会計の貸借対照表(2007年度決算)

資産 635.0兆円	負債 534.3兆円
現金・預金	政府短期証券
有価証券	公債
貸付金	借入金
運用寄託金(年金)	預託金
有形固定資産 (土地・建物等)	公的年金預り金
出資金など	など
	<b>正味財産 100.8兆円</b>

\*出所: 財務省『平成19年度特別会計財務書類の主要計数一覧表』  
四捨五入差があるため左右バランスしない